

# 英和高 最優秀と優秀賞

全国環境科学会 ダブル受賞4回目



環境科学会の「学部生・高専生・高校生等部門」で最優秀発表賞と優秀発表賞を獲得した自然科学部のメンバー

—山梨英和高



高校生2グループは、全国の研究者が参加する環境科学会2019年会でポスターによる研究発表を行い、大学生や高専生、高校生らの部門で最優秀発表賞と優秀発表賞を受賞した。2013年から参加していく、最優秀・優秀のダブル受賞は16年以来4回目。

13グループが参加し、高校

生生は同高のみだった。最優秀賞には五味真奈美さんと中川春菜さん（いずれも2年）の「富士山ハリモミ林の枯死の原因を探る」、優秀賞には安藤千恵梨さんと中沢志歩さん（同）の「ミズダニを指標動物とする水質調査」が選ばれた。

ハリモミ林の研究では、山中湖村にあるハリモミの純林が枯死している原因を探るため、土壤生物を中心に調査した。「予備調査を含めて5千匹くらい数や種類を調べた」（五味さん）という。枯死の程度によって、土壤生物の種類と数が異なるという結論を得た。中川さんは「ハリモミ林の健康診断に生かせるかもしない」と話す。

ミズダニの研究は、北杜市を流れる須玉川と笛吹市を流れる平等川でミズダニの種類を調査。両河川の水質を評価

した。4人とも「出場者はほとんどが大学生で無理だと思っていたから、受賞に驚いた」と笑顔を見せる。研究者を目指している五味さんは「調べるほど真実に近づけるのが、研究の魅力。顧問の山本紘治先生や協力してくれた人に感謝したい」と話している。

（手塚美菜子）